

# 「五条御誓約奉対書」関係史料

所 功

## 〔解説〕

本年（平成三十年）は、「明治」と改元されてから満百五十年目にあたる。しかも、それに先立って同年（慶応四年）三月十四日（新暦一八六八年四月六日）「五箇条の御誓文」が公表されたことは広く知られている。

しかし、その際、「国是五章<sup>※</sup>」の実行を「誓約」して署名した人々（公武を越えた「朝臣」）たちが数百名に及ぶことは、明治維新の研究者ですら十分に認識されていないようである。そこで、この「五条御誓約奉対書」の全容を、ここに史料紹介させて頂こう。

その原本は、京都御所の東山御文庫に所蔵される「御物」にて、直接拝見することが難しい。しかし、つとに「大正九年十

月撮影」白黒写真帖（三分冊、天金装）が作られている（宮内庁宮内公文書館で一般閲覧可能）。また、東京大学史料編纂所の『大日本維新史料稿本』には、全文が同年月日に引用され、しかも同所のホームページに掲載されている。

従って、ここには全容を、少しわかりやすくして翻刻する。まず『大日本維新史料稿本』では慶応四年三月十四日条に、「天皇、紫宸殿に御し、公卿・諸侯を率ゐて、天神地祇を祭り、国是五章を誓約し、公卿・諸侯をして、聖意を奉戴せしむ。〔爾後、朝参の諸侯・中下大夫、亦必ず誓約に就く。〕又詔して、洪業を紹述し、蒼生を安撫せんと欲するを告諭し、各々私見を去て公義に遵はしむ。」との綱文を掲げ、次のような史料①～⑩を引いている（読み易くするため、漢文体は書き下し文とする。丸括弧内は私注）。

## 御誓祭当日関係史料

①(日付) 明治元年三月十三日 / (名称) 弁事達 / 諸藩宛

(備考) 十四日御誓約に付、諸侯に参内を命ず。

(写本) [東京帝国大学所蔵]

別本、宮中日記所載 / 加藤明実家記

諸藩

明十四日 天神地祇御祭祀 御誓約在り為され候間、辰の半刻、遅々無く参内 致すべき様、仰せ出され候事。

但、衣冠の着用、若し用意無き向ハ、直垂着用致すべし。尤も服者にては朝の事。

②(日付) 明治元年三月十三日

(名称) 三条実美 / 岩倉具視書簡 / 中山忠能宛

(備考) 明十四日御誓約に付き、天神地祇を祭る式の次第書を示す。

(原本) 侯爵中山孝磨所蔵

明十四日〔巳刻〕 / 御誓約 仰せ出され候。 / 右に付 / 天神

地祇御祭 / 御拜、別紙の通り伺ひ定め候。仍て申し入れ候也。 / 三月十三日 (三条) 実美 / (岩倉) 具視 / 中山

殿

③(別紙) / 御誓祭式

時刻、群臣着座〔南殿〕 / 東階より参進。〔公卿は母屋に北上西面 / 殿上人は庇に西上北面〕

次に塩水行事 / 次に散米行事 / 次に神祇伯着座 / 次に神於呂志の神歌。 / 次に献供。 / 出御 / 次に祝詞 / 御拜。 / 次に御書読み上げ。 / 次に誓書の事 / 一人宛其の座に進み、先づ神前の方を拝し、又上の御座を拝し、而る後に加判。 / 入御 / 次に撤供 / 次に神阿計の神歌。 / 次に各退出。

④(日付) 明治元年三月十四日 / (名称) 總裁廻達 / 議定・参与等宛。

(備考) 五ヶ条御誓文及び勅諭に対する奉答文を廻覧に付し、其の同意を求む。

(写本) [宮内省図書寮所蔵] / 中山忠能履歴資料四十所載。

今日 / 叡慮の御旨、仰出され候に付、〔臣等〕別紙の通り誓状を奉り候。御同意に候へば、御加判有るべく候事。 / 總裁勅意宏遠、誠に以て感銘に堪へず。今日の急務、永世の基礎、此の他に出づ可らず。〔臣等〕謹みて / 叡旨を奉戴し、死を誓ひ、黽勉従事、冀くは以て宸襟を安じ奉らん。

慶応四年三月十四日

總裁 加名 / 議定 加名 / 参与 加名 /

公卿 加名 / 殿上人 加名

⑤(日付) 明治元年三月十四日

(名称) 紫宸殿誓約次第書

(備考) 紫宸殿に於て、天皇、天神地祇を祭り、公卿・諸侯、亦皆誓約を為すの次第を記す。 / 一人宛中央に進み、

先づ神位を拝し、御座を拝し、而る後に執筆加名云々とあり。

(刊本)〔維新史料編纂会所蔵〕／太政官日誌〔戊辰第五号〕所載

三月十四日南殿に於て／天神地祇御誓祭、在り為され、公卿・諸侯会同就約の／次第、左の如し。

一、午の刻〔群臣着座〕／公卿・諸侯、〔母屋〕。殿上人、南廂。徴士、東廂。

一、塩水行事／神祇輔勤む〔吉田三位侍従〕

一、散米行事／神祇権判事勤む〔植松少将〕

一、神祇督着座〔白川三位〕

一、神於呂志の神歌／神祇督勤む。

一、献供／神祇督・同輔・同権判事、並列して拝送、同輔

〔津和野侍従〔亀井茲監〕〕点検。

一、天皇出御。

一、御祭文読み上げ／総裁職勤む〔三条大納言〔実美〕〕

一、天皇御神拝／親しく幣帛の玉串を奉献したまふ。

一、御誓書読み上げ／総裁職勤む。

一、公卿・諸侯就約。／但し一人宛、中央に進み、先づ／神位を拝し／御座を拝し、而る後に執筆加名。

一、天皇入御。

一、撤供／拝送、初めの如し。

一、神阿計の神歌／神祇督勤む。  
一、群臣退出。

⑥〔日付〕明治元年三月十四日／〔名称〕御誓祭々文

(備考) 親王・公卿・諸侯、百官を率ゐて、天神地祇を祭り、国是を定め、誓て之を行はしむることを述べ。

〔維新史料編纂会所蔵〕／太政官日誌〔戊辰第五号〕所載／宮中日記

御祭文之御写 ※原文の振り仮名を平仮名に直す。

懸くも恐き／天神地祇の太前に、今年三月十四日を生日の

足日と択定て称宜申さく。今より天津神の御言寄の随に天下の

大政を執行はむとして、親王卿臣國々の諸侯百寮

官人を引居連て此神床の太前に誓つらくは、近き頃ほひ邪者の

是所彼所の荒び武びて天下佐夜藝に佐夜藝人の心も平穩なら

ず、故是以天下の諸人等の力を合せ心を一つにして／

皇我政を輔翼奉り令仕奉給へと請祈申禮代は横山の如置

高成て奉る形を聞食て天下の万民を治給ひ育給ひ谷蟻の挾渡る

極白雲の墮居向伏限逆敵対者は令在給はず／

遠祖尊の恩頼を蒙りて無窮に仕奉れる人共の今日の誓約に

違はむ者は、天神地祇の倏忽に刑罰給はむ物ぞと／皇神等の前

に誓の吉詞申給はくと申。

⑦〔日付〕明治元年三月十四日

(名称) 五個条御誓文及び奉答書

(備考) 三月十四日御発布の五ヶ条御誓文、及び之に副ふ勅

語、並びに総裁以下の奉答文

(刊本)〔維新史料編纂会所蔵〕／太政官日誌〔戊辰第五号〕

所載／宮中日記

### 御誓文の御写

- 一、広く会議を興し、万機公論に決すべし。
- 一、上下心を一にして、盛んに経綸を行ふべし。
- 一、官武一途、庶民に至る迄、各々 其の志を遂げ、人心をして 倦まざらしめんことを要す。

一、旧来の陋習を破り、天地の公道に基くべし。

一、智識を世界に求め、大いに／皇基を振起すべし。

我が国、未曾有の変革を為さんとし／朕、躬を以て衆に先んじ、天地神明に誓ひ、大いに斯の国是を定め、万民保全の道を立んとす。／衆亦此の旨趣に基き、協心努力せよ。

年号月日 御諱

勅意宏遠、誠に以て感銘に堪へず。今日の急務、永世の基礎、此の他に出づべからず。臣等、謹みて／勅旨を奉戴し、死を誓ひ、匪勉強事、冀くは、以て／宸襟を安じ奉らん。

慶応四年戊辰三月／総裁 名印／公卿・諸侯 各名印

⑧(日付) 明治元年三月十四日(名称) 御宸翰

(備考) 列祖の洪業を紹述し、億兆を安撫し、国威を宣布せんと欲するを以て、各々私見を去て公義に遵ふべき

旨を論されたるものなり。

(刊本)〔維新史料編纂会所蔵〕／太政官日誌〔戊辰第五号〕

所載／宮中日記

### 御宸翰の御写

朕、幼弱を以て猝に大統を紹ぎ、尔来何を以て万国に対充し／列祖に事へ奉らんやと、朝夕恐懼に堪ざる也。／竊に考るに中葉／朝政衰てより武家権を専らにし、表は／朝廷を推尊して実は敬して是を遠け億兆の父母として絶て赤子の情を知ること能ざるやふ計りなし。遂に億兆の君たるも唯名のみになり果、其が為に今日／朝廷の尊重は古へに倍せしが如くにて、朝威は倍々衰へ上下相離る、こと霄壤の如し。かゝる形勢にて何を以て天下に君臨せんや。

今般／朝政一新の時に膺り、天下億兆一人も其處を得ざる時は、皆／朕が罪なれば今日の事／朕自身骨を勞し心志を苦め艱難の先に立、古／列祖の盡させ給ひし蹤を履み治蹟を勤めてこそ始て／天職を奉じて億兆の君たる所に背かざるべし。往昔／列祖萬機を親らし、不臣のこののあれば、自ら將としてこれを征し玉ふ。／朝廷の政、總て簡易にして、如此尊重ならざるゆへ、君臣相親しみて上下相愛し、徳澤天下に洽く、国威海外に輝きしなり。然るに、近来宇内大に開け、各国四方に相雄飛するの時に当り、独我邦のみ世界の形勢にうとく、旧習を固守し一新の效をはからず。／朕、徒らに九重中に安居し、一

日に安きを偷み、百年の憂を忘るゝ、ときにて、遂に各国の凌侮を受け、上は列聖を辱しめ奉り、下は億兆を苦しめん事を恐る故に、朕こ、に百官諸侯と広く相誓ひ、列祖の御偉業を継述し、一身の艱難辛苦を問はず、親ら四方を経営し、汝億兆を安撫し、遂には万里の波涛を拓開し、国威を四方に宣布し、天下を富岳の安きに置んことを欲す。汝億兆、旧来の陋習に慣れ、尊重のみを朝廷の事となし、神州の危急を知らず、朕一たび足を挙げば非常に驚き、種々の疑惑を生じ、萬口紛紜として、朕が志をなさざらしむる時は、是朕をして君たる道を失はしむるのみならず、従て列祖の天下を失はしむるなり。汝億兆能々朕が志を躰認し、相率て私見を去り公義を採り、朕が業を助て、神州を保全し、列聖の神霊を感し奉らしめば、生前の幸甚ならん。

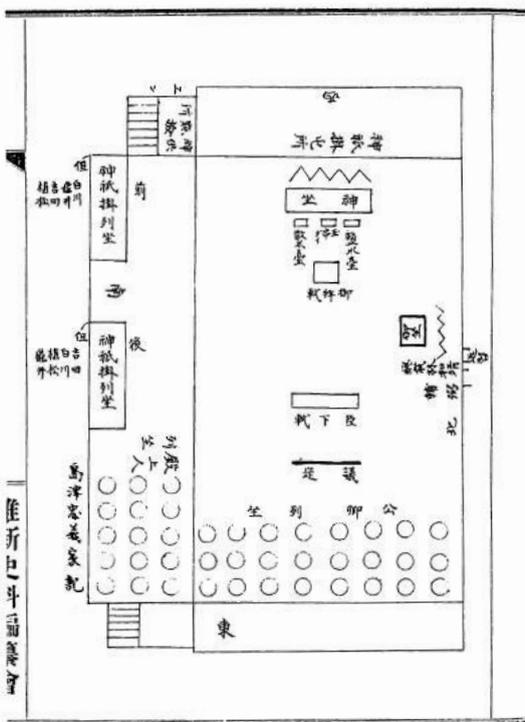
右御宸翰之通、広く天下億兆蒼生を思食さらせ給ふ深き御仁恵の御趣意に付、末々の者に至る迄、敬承し奉り、心得違無之、国家の為に精々其の分を盡すべき事。

三月／総裁／補弼

⑨(日付) 明治元年三月十四日／(名称) 祭場略図

(備考) 御誓祭当日、南殿に於ける神壇・玉座・公卿・諸侯・百官の座位を示せる平面図なり(公卿列座とある内に諸侯も含まる)。

(写本)〔東京帝国大学所蔵〕／島津忠義家記所載



⑩(日付) 明治元年三月十四日／四年五月四日

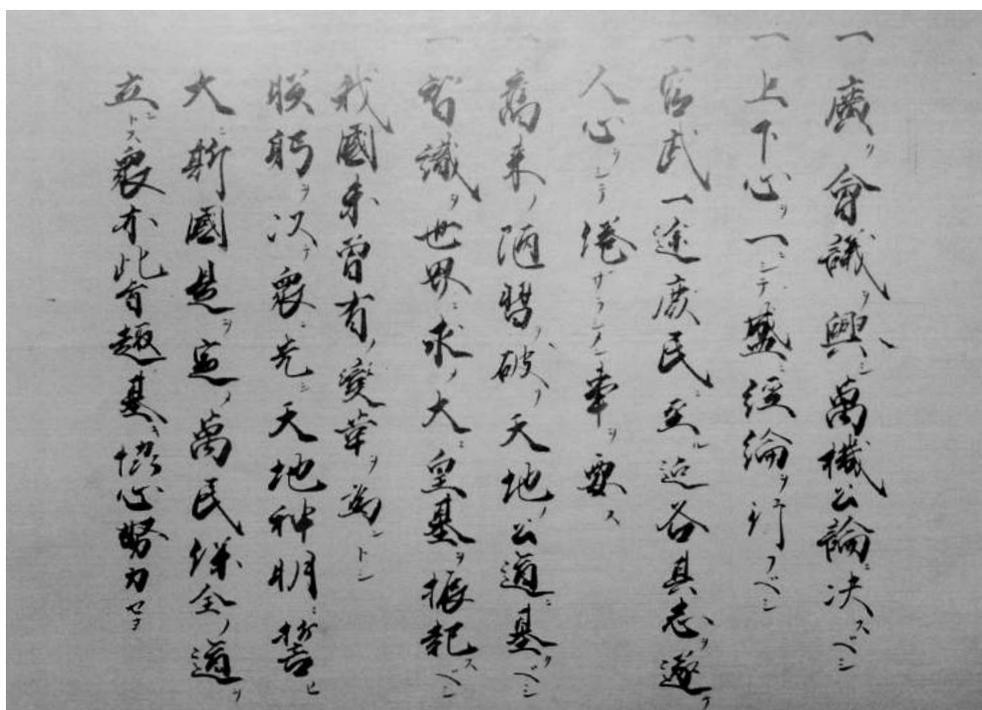
(名称) 公卿諸侯奉答書(四通)

(備考) 公卿・諸侯の奉答誓約せるもの四通を載す(実名は総て自署なり。五百四十四人の姓名を列記す)。

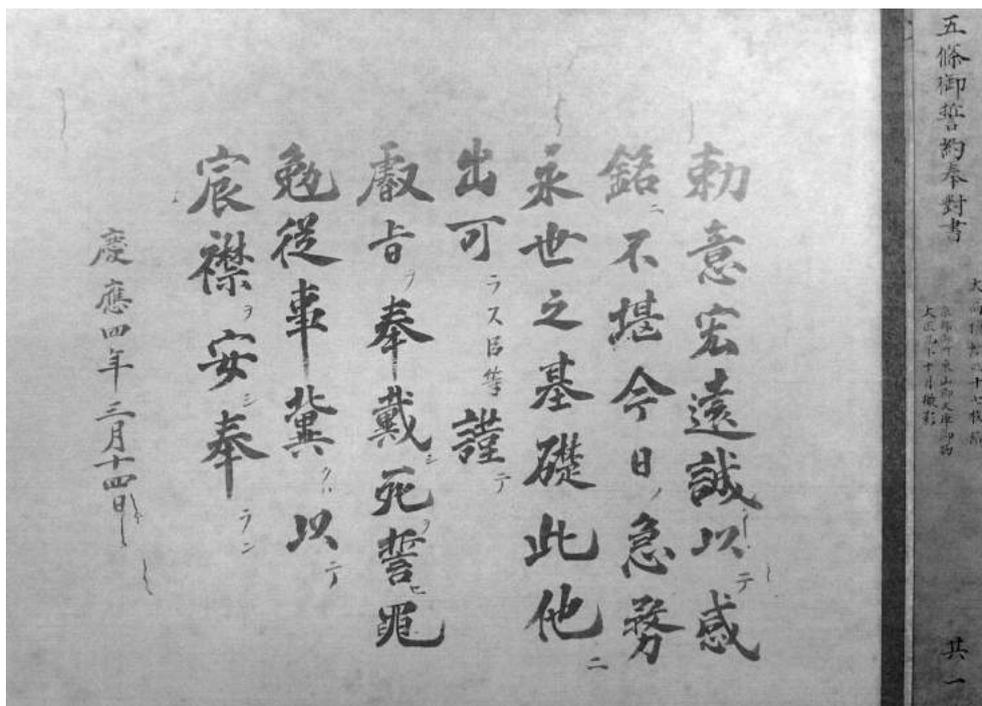
(写本)〔内閣文庫所蔵〕／宮内省記〔乾〕所載

勅意宏遠、誠に以て感銘に堪へず。今日の急務、永世の基礎、此の他に出自づ可らず。(臣等)謹みて、勲旨を奉戴し、死を誓ひ、黽勉従事、冀くは以て宸襟を安じ奉らん。

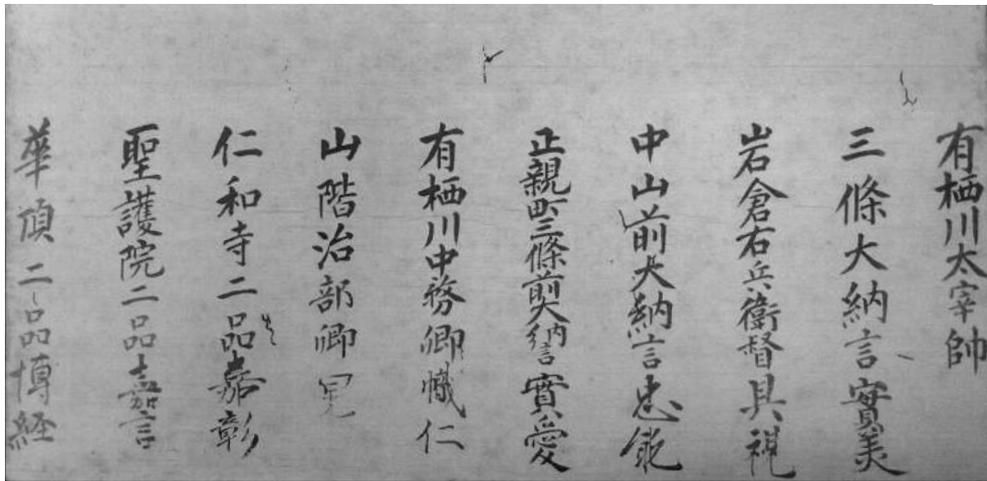
慶応四年三月十四日



有栖川宮幟仁親王筆「五箇条の御誓文」(『五条御誓約奉対書写真』宮内公文書館所蔵より)



「五条御誓約奉対書」(同上所蔵)



有栖川宮熾仁親王 東征大総督	三條實美 副総裁	岩倉具視 副総裁	中山忠能 輔弼	嵯峨實愛 議定	有栖川宮熾仁親王 議定	山階宮晃親王 外国事務局督	仁和寺宮嘉彰親王 兵部卿	聖護院宮嘉言親王 内国事務局督	華頂宮博經親王 會計事務総督
34	32	44	60	49	57	53	23	48	18

五条誓約署名の冒頭部分（宮内庁宮内公文書館所蔵写真より）

- 1 有栖川太宰帥（※熾仁親王。出征中のため署名なし）  
 2 三條大納言實美  
 3 岩倉右兵衛督具視  
 4 中山前大納言忠能  
 5 正親町三條前大納言實愛  
 6 有栖川中務卿熾仁  
 7 山階治部卿晃  
 8 仁和寺二品嘉彰  
 9 聖護院二品嘉言  
 10 華頂二品博經  
 11 近衛新前左大臣忠房  
 12 鷹司前右大臣輔熙  
 13 徳大寺大納言実則  
 14 中御門大納言經之  
 15 萬里小路中納言博房  
 16 長谷宰相信篤  
 17 松平宰相慶永  
 18 白川神祇伯資訓  
 19 蜂須賀少将茂韶  
 20 山内前少将  
 21 伊達少将宗城（※上段に「朱書」閏四月十日」と注記）  
 22 鍋島前中将直正  
 23 島津少将忠義  
 24 毛利少将廣封  
 25 龜井侍從茲監  
 26 鍋島侍從直大  
 27 浅野新少将茂勲  
 28 細川侍從護久  
 29 正親町大納言実徳  
 30 醍醐大納言  
 31 中院大納言通富  
 32 橋本大納言実麗  
 33 我大納言通久  
 34 三條西中納言季知  
 35 大原宰相重徳  
 36 西園寺三位中将公望  
 37 堤右京大夫哲長  
 38 吉田侍從三位良義  
 39 東園中将基敬  
 40 正親町中将公董  
 41 東久世前少将

- 42 植松少将雅言  
 43 橋本少将  
 44 五條少納言為栄  
 45 壬生前修理權大夫基修  
 46 四條前侍從隆調  
 47 鷲尾侍從隆聚  
 48 長谷美濃權介信成  
 49 平松甲斐權介時厚  
 50 石山右兵衛權佐基正  
 51 烏丸侍從光徳  
 52 岩倉侍從具綱  
 53 萬里小路右少弁通房  
 54 坊城侍從俊章  
 55 澤前主水正  
 56 愛宕大夫通旭  
 57 五辻大夫安仲  
 58 秋月右京亮種樹  
 59 戸田大和守忠至  
 60 長岡左京亮護美  
 61 伏見式部卿邦家  
 62 九條左大臣  
 63 大炊御門右大臣家信  
 64 近衛前左大臣忠熙  
 65 徳大寺前右大臣  
 66 一條前右大臣  
 67 廣幡内大臣忠禮  
 68 久我前内大臣  
 69 綾小路按察使有長  
 70 難波大納言宗弘  
 71 庭田大納言重胤  
 72 日野前大納言資宗  
 73 飛鳥井前大納言雅典  
 74 柳原前大納言光愛  
 75 廣橋前大納言胤保  
 76 今城前大納言  
 77 裏松前大納言  
 78 葉室前大納言長順  
 79 冷泉中納言  
 80 愛宕中納言通祐  
 81 山科右衛門督言成  
 82 前田中納言齊泰  
 83 清水谷中納言公正  
 84 松平中納言茂承  
 85 清閑寺中納言豊房  
 86 六條前中納言有容  
 87 野宮前中納言定功  
 88 八條前中納言隆祐  
 89 三室戸宰相陳光  
 90 西洞院宰相信堅  
 91 阿野宰相中将公誠  
 92 今城宰相中将定國  
 93 梅溪宰相中将通善  
 94 四辻宰相中将公賀  
 95 町尻前宰相量輔  
 96 竹屋前宰相光有  
 97 久世前宰相通熙  
 98 七條前宰相  
 99 藤波二位教忠  
 100 藤井二位  
 101 五辻二位高仲  
 102 萩原二位員光  
 103 梅園前右兵衛督  
 104 六角三位  
 105 豊岡前大藏卿隨資  
 106 倉橋大藏卿泰聰  
 107 吉田三位  
 108 清岡式部權大輔長熙  
 109 石井左衛門督  
 110 岩倉三位具慶  
 111 三室戸三位雄光  
 112 澤三位  
 113 西四辻三位  
 114 慈光寺三位  
 115 伏原三位  
 116 平松三位  
 117 石野三位基安  
 118 唐橋式部大輔  
 119 堀川三位親賀  
 120 山井三位氏暉  
 121 高松三位保実  
 122 池尻宮内卿胤房  
 123 土御門民部卿晴雄  
 124 錦織刑部卿久隆  
 125 藤井三位行道  
 126 北小路左京權大夫隨光  
 127 交野左京大夫時萬  
 128 慈光寺太宰大式有仲  
 129 舟橋侍從三位康賢

- 130 梅園三位実紀  
 132 清岡三位長説  
 134 穂波三位  
 136 樋口三位静康  
 138 山科内藏頭言綱  
 140 甘露寺頭弁勝長  
 142 櫛笥中将隆韶  
 144 滋野井中将実在  
 146 押小路遠江権介  
 148 西大路少将  
 150 石山中将基文  
 152 小倉中将輔季  
 154 愛宕中将通致  
 156 高丘兵部大輔紀季  
 158 大炊御門少将師前  
 160 醍醐少将  
 162 園中将基祥  
 164 園池少将公静  
 166 中園左馬権頭  
 168 滋野井侍従公壽  
 170 庭田侍従重正  
 172 六條少将有義  
 131 堀川新三位康隆  
 133 高野三位保美  
 135 高倉三位  
 137 倉橋三位泰頭  
 139 飛鳥井侍従三位雅望  
 141 油小路中将隆晃  
 143 中山前中将忠愛  
 145 松本中将宗有  
 147 武者小路少将公香  
 149 三條西少将公允  
 151 千種前少将有文  
 153 難波中将宗禮  
 155 町尻少将量衡  
 157 高野少将保建  
 159 六角大藏大輔博通  
 161 石野治部大輔基佑  
 163 裏辻前中将公愛  
 165 高辻少納言修長  
 167 清水谷侍従公考  
 169 小倉侍従長季  
 171 山本少将実政  
 173 水無瀬少将  
 174 坊城頭弁俊政  
 176 大原前侍従俊実  
 178 七條備中権介信祖  
 180 梅溪侍従通治  
 182 千種侍従有任  
 184 外山宮内大輔光輔  
 186 綾小路少将有良  
 188 三室戸左兵衛佐和光  
 190 松平少将定安  
 192 有馬中将慶頼  
 194 中園近江権介実受  
 196 冷泉侍従為紀  
 198 錦織中務大輔教久  
 200 押小路彈正少弼公亮  
 202 藤波伊勢権守言忠  
 204 藤堂少将高潔  
 206 青山左京大夫忠敏  
 208 勧修寺右衛門権佐經理  
 210 竹屋左衛門佐光昭  
 212 梅園大夫実静  
 214 西洞院大夫信愛  
 216 冷泉大夫為柔  
 175 松平中将慶倫  
 177 富小路前中務大輔敬直  
 179 山井勘解由次官氏胤  
 181 竹内右馬頭惟賢  
 183 慈光寺大膳権大夫右仲  
 185 油小路侍従隆董  
 187 唐橋大内記在綱  
 189 豊岡中務権大輔健資  
 191 伏原少納言宣足  
 193 風早大和権介公紀  
 195 萩原右衛門佐員種  
 197 東坊城大学頭任長  
 199 堤右兵衛佐功長  
 201 松木侍従宗順  
 203 黒田少将長知  
 205 有馬遠江守道純  
 207 勘解由小路権右中弁資生  
 209 葉室左少弁長邦  
 211 西大路大夫隆修  
 213 四條大夫  
 215 藪大夫実方  
 217 清閑寺侍従盛房

- 218 廣橋侍從胤光  
／ 219 柳原侍從  
／ 221 花園大夫実延  
220 勘解由小路出雲権介光尚  
／ 223 梅小路讚岐権守定明  
222 東園大夫基愛  
／ 225 澤主水正宣種  
224 藤谷越前権介為遂  
／ 227 甘露寺大夫義長  
226 大原左馬頭重朝  
／ 229 阿野侍從実允  
228 中御門大夫経明  
／ 231 石井民部大輔行知  
230 植松右京権大夫雅徳  
／ 233 難波大夫宗明  
232 河鱈大夫  
／ 235 裏松中務権少輔良光  
234 清岡大膳大夫長延  
／ 237 武者小路大夫実世  
236 桑原大夫輔長  
／ 239 岡崎修理権大夫  
238 橋本大夫実陳  
／ 241 石野大夫基将  
240 三室戸大夫治光  
／ 243 八條近江権守隆吉  
242 慈光寺大和権守和仲  
／ 245 植松大夫雅平  
244 岩倉大夫具定  
／ 247 唐橋大夫在正  
246 東久世大夫  
／ 249 松浦肥前守詮  
248 日野西越後権介光善  
／ 251 九鬼大隅守隆備  
250 京極佐渡守朗徹  
／ 253 榎笥大夫隆義  
252 北條相模守氏恭  
／ 255 倉橋因幡権介泰清  
254 錦小路丹波権介頼言  
／ 259 中川修理大夫久昭  
256 毛利伊勢守高謙  
／ 261 牧野豊前守  
257 安藤飛驒守直裕 (※上段に「(朱書) 三月十四日」と注記)  
／ 263 京極飛驒守高厚  
258 仙石讚岐守久利  
／ 265 池田信濃守政詮  
260 市橋下総守長義  
／ 267 能見但馬守親貴  
262 木下備中守利恭  
／ 269 松平佐渡守直巳  
264 森対馬守俊滋 (上段に「(朱書) 三月十四日」と注記。272・277・279・280・281および288・289・290も「三月十四日」と注記)  
／ 271 松平主計頭直哉  
265 池田信濃守政詮  
／ 273 池田相模守徳定  
266 能見但馬守親貴  
／ 275 藤堂佐渡守高邦  
267 能見但馬守親貴  
／ 277 加藤能登守明実  
268 京極下総守高典  
／ 279 土井淡路守利教  
269 松平佐渡守直巳  
／ 281 池田撰津守徳澄  
270 伊東播磨守長壽  
／ 283 細川差次藏人源常典  
271 松平主計頭直哉  
／ 285 藤島新藏人藤原助順  
272 池田相模守徳定  
／ 287 織田富久之助信敏  
273 池田相模守徳定  
／ 289 土方智千代雄永  
274 小出伊勢守英尚  
／ 291 柳弦次郎頼明 (※上段に「三月十五日」と注記)  
275 藤堂佐渡守高邦  
／ 292 堀三之丞親広 (※「三月十八日」と注記。293・299も)  
276 加藤遠江守泰秋  
／ 293 井上河内守正直  
277 加藤能登守明実  
／ 295 相良遠江守頼基  
278 織田出雲守信親  
／ 296 板倉撰津守勝弘  
279 土井淡路守利教  
／ 282 北小路極蔭大江俊昌  
280 松平図書頭信正  
／ 284 壬生禰藏人小槻明麗  
281 池田撰津守徳澄  
／ 286 徳川元千代徳成 (※「五月九日」と注記。302・303・361・368も)  
282 北小路極蔭大江俊昌  
／ 288 森帯刀忠儀  
283 細川差次藏人源常典  
／ 289 青木源五郎重義  
284 壬生禰藏人小槻明麗  
／ 290 青木源五郎重義  
285 藤島新藏人藤原助順  
／ 291 柳弦次郎頼明 (※上段に「三月十五日」と注記)  
286 徳川元千代徳成 (※「五月九日」と注記。302・303・361・368も)  
／ 292 堀三之丞親広 (※「三月十八日」と注記。293・299も)  
287 織田富久之助信敏  
／ 293 井上河内守正直  
288 森帯刀忠儀  
／ 295 相良遠江守頼基  
289 土方智千代雄永  
／ 296 板倉撰津守勝弘  
290 青木源五郎重義  
／ 299 本庄宮内少輔道美  
291 柳弦次郎頼明 (※上段に「三月十五日」と注記)  
／ 302 303 361 368も  
292 堀三之丞親広 (※「三月十八日」と注記。293・299も)  
／ 302 303 361 368も  
293 井上河内守正直  
／ 302 303 361 368も  
294 本庄宮内少輔道美  
／ 302 303 361 368も  
295 相良遠江守頼基  
／ 302 303 361 368も  
296 板倉撰津守勝弘  
／ 302 303 361 368も

- 297 一柳对馬守末徳  
298 本多平八郎忠直  
299 植村釗次郎家壺  
300 松平讃岐守頼聡（※「閏四月十日」と注記。301・304～357も）  
301 松平大和守直克  
302 前田飛驒守利鬯  
303 松平左京大夫頼英  
304 島津淡路守忠寛  
305 稲葉美濃守正邦  
306 本多主膳正康穰  
307 柳澤甲斐守保申  
308 宗对馬守義達  
309 土井能登守利恒  
310 稲葉右京亮久通  
311 遠山信濃守友祿  
312 増山对馬守正修  
313 渡邊丹後守章綱  
314 三宅備後守康保  
315 小笠原左衛門佐長守  
316 久松大蔵少輔勝行  
317 高木主水正正坦  
318 久松尙岐守定法  
319 毛利讃岐守元純  
320 細川玄蕃頭興貫  
321 丹羽長門守氏中  
322 稲垣若狭守太清  
323 大岡越前守忠敬  
324 堀右京亮之美  
325 岩城左京大夫隆邦  
326 細川豊前守行眞  
327 松平主殿頭忠和  
328 土岐隼人正頼知  
329 松平日向守直静  
330 大河内右京亮輝照  
331 酒井左京亮忠経  
332 堀田出羽守正養  
333 森川内膳正俊方  
334 西尾隠岐守忠篤  
335 三浦玄蕃頭顕次  
336 井伊右京亮直安  
337 瀧脇丹後守信敏  
338 土井大炊頭利与  
339 間部下総守詮道  
340 青山大膳亮幸宜  
341 小笠原幸松丸貞季  
342 酒井鉦次郎忠実  
343 竹腰龍若正旧  
344 安藤理三郎信勇  
345 井上宮内正順  
346 松平太刀若康倫  
347 京極右近高陳  
348 松平薫次郎直致  
349 柳澤伊織光邦  
350 伊東彦松祐焔  
351 土屋餘七磨拳直  
352 松前敦千代隆広  
353 吉川芳之助経健  
354 鳥居右近忠文  
355 織田修理信及  
356 黒田甲斐守長徳  
357 櫻井遠江守忠興  
358 永井日向守直介  
359 四辻大夫公康  
360 野宮大夫定毅  
361 水野和泉守忠精  
362 水野直次郎忠弘  
363 諏訪鉦次郎忠禮  
364 奥平美作守昌邁  
365 柳川少将鑑寛  
366 加納嘉元次郎久宜  
367 永井肥前守尚服  
368 堀田相模守正倫  
369 酒井右京大夫忠祿  
370 内藤備後守政挙  
371 大給左衛門尉近説  
372 大給縫殿頭乗謨  
373 松井周防守康英  
374 稲葉備後守正善  
375 小笠原佐渡守長国  
376 立花出雲守種恭  
377 京極主膳正  
378 稲垣平右衛門（※「巳の正月廿五日」と注記）  
379 長門宰相敬親

- 380 保科弾正忠正益 (※「六月廿三日」と注記。381・382・387も)  
 381 本庄弾正忠宗武  
 382 石川日向守成之  
 383 前田丹後守利裕  
 384 毛利淡路守元蕃  
 385 伊達若狭守  
 386 喜連川左馬頭  
 387 酒井直之助忠邦  
 388 彦根中将直憲 (※「八月三十日」と注記。391・393・395・397・399・401・402・404・405も)  
 389 因幡中将  
 390 松山少将勝成  
 391 伊達侍従宗徳  
 392 備前侍従章政  
 393 戸田丹波守光則  
 394 秋元刑部大輔志朝  
 395 秋月長門守種殿  
 396 五島飛驒守成徳  
 397 本多河内守忠貫  
 398 九鬼長門守隆義  
 399 松平能登守乗命  
 400 太田備中守資美  
 401 建部内匠頭政世  
 402 前田多慶若利嗣  
 403 阿部元次郎正桓  
 404 毛利宗五郎元懋  
 405 伊達錦之助宗敬  
 406 内藤金一郎文成  
 407 山名主水助義済 (※「六月九日」と注記)  
 408 池田久米之助  
 409 平野内蔵助長裕  
 410 西四辻少将公業  
 411 岩倉勘解由長官具経  
 勅意宏遠云々 (以下、上文と同じ)  
 ・ 明治元年戊辰九月十三日  
 412 因幡中将慶徳  
 413 内藤若狭守頼直  
 ・ 明治元年戊辰九月十九日  
 414 山内中納言豊信  
 415 田沼玄蕃頭意尊  
 416 内藤志摩守正誠  
 417 岡部彌次郎長職  
 418 山内薫豊誠  
 419 本多修理忠鵬  
 420 池田久米之助喜延  
 421 大澤右京大夫基壽  
 ・ 明治二年己巳正月廿五日  
 422 松平少将茂昭  
 423 山内少将豊範  
 424 大河内刑部大輔信古  
 425 関伊勢守長克  
 426 牧野豊前守誠成  
 427 戸田淡路守氏良  
 428 谷大膳亮衛滋  
 429 本多肥前守忠明  
 430 脇阪淡路守安斐  
 431 織田摂津守長易  
 432 柳生但馬守俊益  
 433 片桐主膳正貞篤  
 434 浅野近江守長厚  
 435 蒔田相模守広孝  
 436 永井信濃守直哉  
 437 真田信濃守幸民  
 438 戸田采女正氏共  
 439 稲垣对馬守長敬  
 440 木下鐵次郎俊愿  
 441 山崎壽丸治祇  
 442 鍋島欽八郎直虎  
 443 松浦豊太郎近  
 ・ 二月十九日  
 444 前田宰相中将慶寧  
 445 成瀬隼人正正肥  
 446 加藤出雲守泰令  
 447 小笠原近江守貞正  
 ・ 二月二十二日  
 448 橋本中将実梁  
 ・ 二月二十三日  
 449 澤右衛門権佐宣嘉

勅意宏遠云々〔以下、上文に同じ〕

・明治元年戊辰十一月朔日

- 450 一橋大納言茂栄  
 452 秋元但馬守禮朝  
 454 本多紀伊守正訥  
 456 黒田筑後守直養  
 458 大岡主膳正忠賞  
 460 松平撰津守忠恕  
 462 阿部駿河守正恒  
 464 水野肥前守忠順  
 466 遠藤但馬守胤城  
 468 戸田長門守忠行  
 470 新庄下野守直敬  
 472 有馬兵庫頭氏弘  
 474 松平雅楽頭頼策  
 476 大久保三九郎忠順  
 478 酒井知三忠彰  
 480 堀恭之進直登  
 482 山口長次郎弘達  
 484 井上辰若丸正巳  
 ・同月五日  
 486 松平廿二磨頼之
- 451 田安中納言慶頼  
 453 水野出羽守忠敬  
 455 鳥居丹波守忠寶  
 457 中山備中守信徴  
 459 石川若狭守總管  
 461 大河内豊前守正質  
 463 堀田撰津守正頌  
 465 大久保中務少輔教義  
 467 米倉丹後守昌言  
 469 米津伊勢守政敏  
 471 内田主殿頭正学  
 473 本堂式部丞親久  
 475 牧野金丸貞邦  
 477 板倉百助勝敬  
 479 大関泰次郎増勤  
 481 大田原銚丸勝清  
 483 吉井鐵丸信謹
- 487 相馬因幡守季胤  
 485 松平確堂齊民

・同月十九日

- 489 戸田土佐守忠友  
 491 溝口誠之進直正  
 493 秋田萬之助映季  
 ・同年十二月五日  
 496 徳川民部大輔昭武  
 498 六郷兵庫頭政鑑  
 500 生駒讃岐守親敬  
 勅意宏遠云々〔以下、上文に同じ〕  
 ・明治二年己巳六月廿七日
- 501 榊原侍從政敬  
 503 前田侍從利同  
 505 鍋島甲斐守直紀  
 507 松平和泉守  
 509 鍋島備中守直彬  
 511 久留島伊豫守通靖  
 513 池田丹波守政禮  
 515 足利左馬頭聰氏  
 517 酒井徳之助忠禄  
 519 酒井信三郎忠匡  
 521 南部彦太郎利恭  
 523 本多兵庫助忠伸
- 488 徳川三位中将家達  
 490 松平主税頭頼位  
 492 大久保岩丸忠良  
 494 柳澤彰太郎徳忠  
 495 細川中将韶邦  
 497 松平伊賀守忠禮  
 499 上杉駿河守勝道
- 502 戸澤中務大輔正実  
 504 上杉侍從茂憲  
 506 大村丹後守純瀨  
 508 細川若狭守  
 510 安部撰津守信發  
 512 牧野伊勢守忠泰  
 514 佐竹志岐守義理  
 516 久世順吉広業  
 518 阿部基之助正功  
 520 丹羽五郎左衛門長裕  
 522 板倉教之助勝達  
 524 松平豊熊信安

- 525 牧野銳橋忠毅  
 526 田村鎮丸崇顯  
 527 南部雄磨信方  
 528 内藤三郎信美  
 529 内藤英之助政憲  
 530 水野禊之助勝寛  
 531 本多竹仙助実  
 532 南部璟之助荣信  
 533 分部掃部助光明  
 534 堀貞次郎直弘  
 535 弘前藩知事承昭  
 536 津輕従五位承叙  
 537 西尾藩知事乗秩  
 538 久保田藩知事義堯  
 539 高須藩知事義生  
 540 桑名藩知事定教  
 541 高梁藩知事勝弼  
 542 小諸藩知事康濟  
 543 豊津藩知事忠忱  
 544 忍藩知事忠敬
- 4年辛未五月四日  
 (日付) 明治元年三月/十二月 / (名称) 中下大夫奉答書  
 (備考) 中下大夫の奉答誓約せるもの三通を載す (実名は総て自署なり。二百八十八人の姓氏を列記す)。  
 中下大夫の称は五月廿八日に之を定む。旧幕の高家交代寄合を中大夫と為し、寄合両番席千石以上を下大夫と為す。
- (写本)〔内閣文庫所蔵〕／宮内省記〔乾〕所載  
 勅意宏遠云々〔以下、上文に同じ〕／慶応四年戊辰三月
- 545 武田侍従崇信  
 546 足利木久磨  
 547 戸田中務氏貞  
 548 吉良源六郎義方  
 549 大友式部義敬  
 550 大澤采女助  
 551 有馬次郎広泰  
 552 松平豊三郎康敏  
 553 溝口隼人助直景  
 554 近藤兵庫助用虎  
 555 今大路中務大輔正経  
 556 秋元一学国朝  
 557 服部中保固  
 558 戸田三郎四郎氏益  
 559 五井弘之助忠庸  
 560 溝口越前直吉  
 561 松平式部忠盈  
 562 米津小大夫田之  
 563 山口内匠直英  
 564 近藤力之助用諫  
 565 近藤登助利用  
 566 杉浦越前正尹  
 567 曾我千代松助尚  
 568 鍋島頼之助直影  
 569 大河内綱之助信缸  
 570 坪内飛驒定益  
 571 秋山虎之助正永  
 572 久松栄之助忠武  
 573 花房外記正綏  
 574 西郷新太郎  
 575 近藤隼人国用  
 576 巨勢大隅利光  
 577 松平欽二郎忠厚  
 578 戸田熊之丞氏寛  
 579 本多日向助直  
 580 本多寛司忠陣  
 581 久永岩吉郎  
 582 西尾錦三郎教毅  
 583 高木義太郎正義  
 584 井上厚之助正義  
 585 大草三吉高朗  
 586 皆川鏈之進庸徳  
 587 大河内監物正躬  
 588 仁賀保孫九郎誠成

- 589 大久保式部教愛  
 591 石川楨之助総詮  
 593 新庄綱五郎直与  
 595 阿部志津摩正順  
 597 松平甲次郎  
 599 岡部加賀長直  
 601 仙石播磨政相  
 603 太田彦十郎  
 605 水野春四郎忠善  
 607 宮城福之助千国  
 609 仙石鐵次郎久寧  
 611 大島雲四郎義行  
 613 戸田彦次郎氏氏  
 615 落合鏞太郎道義  
 617 堀順三郎直意  
 619 岡部鉦次郎忠利  
 621 松平図書乗武  
 623 遠藤新六郎常懐  
 625 山口新五郎直昭  
 627 渡邊鐘次郎保  
 629 岡田六次郎善直  
 631 奥山主税良匡  
 632 齋藤次郎左衛門利愛  
 633 清水次郎  
 635 別所孫四郎矩方  
 637 内藤備中忠一  
 639 笈帯刀正行  
 同年十一月十四日  
 642 大澤基治(花押)  
 644 太田彦十郎資智  
 646 遠山益之助景福  
 648 岡野延五郎知則  
 650 仁賀保佐五郎誠懃  
 652 清水次郎義方  
 勅意宏遠云々(以下、上文に同じ)明治元年戊辰十一月十九日  
 653 今川侍従国広  
 655 宮原侍従義路  
 657 上杉源四郎義順  
 659 長澤内記資寧  
 661 蘆野雄之助資愛  
 663 大田原帯刀清明  
 665 新田滿次郎俊純  
 667 久世三四郎広崇  
 669 大久保与七郎忠告  
 671 内藤駒次郎信重  
 672 藤堂乗之丞良連  
 590 柴田岩五郎勝誠  
 592 太田運八郎資道  
 594 岡野雄之丞  
 596 島津又吉久純  
 598 平岡隼人頼之  
 600 内藤鈇吉正従  
 602 戸田松三郎忠篤  
 604 村瀬眞次郎重義  
 606 間部内膳  
 608 竹本左門正誠  
 610 小笠原外記長則  
 612 馬場大助  
 614 川勝驪之助広成  
 616 大久保彦太郎  
 618 千本彌八郎  
 620 山本小膳正直  
 622 宮崎太郎泰道  
 624 諏訪左源太頼威  
 626 三好時之助長貞  
 628 蒔田留十郎広生  
 630 稲垣藤九郎長庚  
 634 稲葉左衛門通徳  
 636 鈴木萬次郎重備  
 638 永井吉之丞直尹  
 640 坪内鈇次郎利昌  
 641 足利木久磨基永  
 643 土岐峯次郎頼功  
 645 石川山平総参  
 647 久永岩吉郎章武  
 649 間部篤志郎詮功  
 651 堀助次郎親序

- 673 水野式部忠和  
 674 本多駒之助正国  
 675 菅谷主税介政勝  
 676 松平采女信懿  
 677 石川又四郎正敬  
 678 松下加兵衛重光  
 679 有馬鐵三郎則忠  
 680 杉浦桂之進政芳  
 681 徳永主税昌大  
 682 日向小傳太正直  
 683 織田主水正治  
 684 井戸金平弘光  
 685 加藤彌次郎明吉  
 686 加藤右近明昭  
 687 諏訪萬吉郎頼超  
 688 安藤左京高美  
 689 永田勝左衛門直知  
 690 本多吉彌忠宏  
 691 三井萬三郎良忠  
 692 大久保銃三郎教孝  
 693 進佐渡守成孝  
 694 玉虫八左衛門維矩  
 695 諏訪甲斐守頼匡  
 同年十二月五日  
 696 生駒旬之助俊徳  
 697 渡邊虎之助濟  
 698 多賀鞆負高智  
 699 河野庄左衛門通知  
 勅意宏遠云々〔以下、上文に同じ〕／慶応四年六月  
 700 大澤侍従基壽  
 701 京極侍従高福  
 702 畠山侍従義勇  
 703 榊原越中守照求  
 704 最上駿河守義連  
 705 日野大学資訓  
 706 中條兵庫信汎  
 707 織田主計信任  
 708 山名主水助義濟  
 709 松平与次郎敬信  
 710 平野内蔵助長裕  
 711 戸川主馬助達敏  
 712 朽木主計助之綱  
 713 金森左京近明  
 714 五島銃之助盛明  
 715 伊東鑒之助祐敦  
 716 和久左衛門五郎頼謙  
 717 小笠原兵庫助長裕  
 718 朽木和泉守綱美  
 719 水野但馬守忠昌  
 720 高木伊勢守守庸  
 721 小笠原加賀守長毅  
 722 松井信濃守康功  
 723 能勢日向守頼富  
 724 一色丹後守直記  
 725 池田右近將監頼誠  
 726 小出大和守秀実  
 727 小出播磨守秀道  
 728 牧相模守義道  
 729 松平上総介忠敏  
 730 板倉小次郎勝運  
 731 内藤甚郎正義  
 732 横田権之助栄松  
 733 三枝政三郎守道  
 734 石川鞆負総範  
 735 水野国之助貞尚  
 736 永井左門直剛  
 737 酒井富之助  
 738 花房助兵衛職居  
 739 上田鎌次郎義命  
 740 大給求馬乘恵  
 741 舟越柳之助  
 742 柴田七九郎  
 743 青山内記幸勸  
 744 武田兵庫信敬  
 745 一柳信次郎直明  
 746 小出主水有常  
 747 巨勢鑛之助利国  
 748 近藤利三郎政敏  
 749 青木九十郎直永  
 750 仙石右近久徴  
 751 甲斐庄帯刀正光  
 752 石河蔵人貞昭  
 753 堀田主計一儀  
 754 藤懸左京永武  
 755 瀧川斧太郎利勇

- 756 蒔田鑓太郎広徳  
 758 浅野友三郎長瀬  
 760 片桐銀三郎貞明  
 762 本多邦之輔成功  
 764 木下辰太郎秀舜  
 766 朽木勇太郎為綱  
 768 松平主税勝寛  
 770 酒井鉄三郎忠誠  
 772 伊東常二郎  
 774 庄田八十之助安興  
 776 市橋傳七郎長賢  
 778 竹中万壽蔵重任  
 780 小出織部秀榮  
 782 青木寅之助義権  
 784 永井大之丞直毅  
 786 桑山舍人元吉  
 788 土方兼三郎雄道  
 790 多羅尾織之助光弼  
 792 谷鎌蔵衛通  
 794 安部政太郎信徳  
 796 本多岩次郎忠保  
 798 織田熊三郎信一  
 757 水谷主水勝昌  
 759 根来栄三郎盛富  
 761 大河内孫三郎  
 763 長谷川都五郎勝龍  
 765 浅野隼人長發  
 767 秋月幾三郎種事  
 769 菅沼直七郎定基  
 771 池田鎗三郎  
 773 酒井織部忠尚  
 775 久留島修理通孝  
 777 森宗兵衛政徳  
 779 京極要之助高驥  
 781 内藤甚十郎忠良  
 783 松井伊織康功  
 785 谷蔵人衛久  
 787 曾我勝太郎純祐  
 789 大島鐵太郎義和  
 791 松浦左京恒  
 793 島田新三郎直行  
 795 戸川右近達利  
 797 今井彦二郎好近  
 799 村越三十郎顕民  
 800 桑山修理正範  
 802 土方鞆負久巳  
 804 渡邊鎮之丞厚  
 806 片桐内蔵助信成  
 808 安部関次郎信喜  
 810 小出助四郎秀庸  
 812 角南哲三郎忠愛  
 814 中島与五郎隆成  
 明治元年戊辰九月十三日  
 816 菊地主膳則忠  
 818 船越柳之助景略  
 820 青山三之助幸待  
 822 関左近盛令  
 824 佐野房之助率行  
 826 設楽帯刀貞鑑  
 明治元年戊辰九月十九日  
 827 横瀬筑前守貞固  
 829 六角主税 / 名代雄太郎廣宣  
 831 岡田整之助善長  
 801 安部主殿信清  
 803 丹羽小左衛門正親  
 805 武島颯之助直方  
 807 櫻井鏗之助忠正  
 809 小堀権十郎政安  
 811 桑山録太郎重信  
 813 渡邊嘉一郎鏡  
 815 松平太郎左衛門信汎  
 817 齋藤宮内三義  
 819 戸川隼人安宅  
 821 内藤弾正忠寛  
 823 八木十三郎補政  
 825 松井主馬康弘  
 828 新田信濃守貞時  
 830 前田愿十郎長禮  
 832 勝田銅吉

※以上、『大日本維新史料稿本』に拠ったが、原本の順番と若干異なる。

以上は「大日本維新史料稿本」により翻刻したものであり、便宜的に一連番号を冠した。これを宮内庁宮内公文書館所蔵の『五條御誓約奉対書写真』全三冊（原本「大高檀紙／京都御所 東山御文庫御物／大正九年十月（撮影）」）と対照するに、次のような異同がある。

まず一冊目「其一」1～319から続く二冊目「其一」320～411までは、すべて慶応四年三月十四日で、稿本と順番も一致する。しかし、二冊目「其二」700～832は、同年六月と九月十三日・十九日分、「其三」545～623から続く三冊目「其三」624～652は、同年三月と十一月十四日分、「其四」450～500が同年の十一月一日・五日・十九日と十二月五日分、「其五」653～699が同年十一月十九日と十二月五日分、「其六」412～449が同年九月十三日・十九日と明治二年正月二十五日・二月十九日・二十二日・二十三日分、「其七」501～544が明治二年の六月二十七日・七月十七日・二十二日・八月十三日・十月二日・十一月十四日・十二月十二日および三年八月十七日・四年五月四日分で、稿本と順番が一致しない。

このような違いは、大日本維新史料が稿本を作る際に、原本の身分・官位などを考慮して少し並べ換えたからだろうと思われる。もちろん、全体として名簿全八三二名中、加署者総数は七六五名で違いがない。

これらの人々は、五条の国是を天地神明に誓われた明治天皇

のもとで「叡旨を奉戴し、死を誓ひ、匪勉従事…宸襟を安んじ奉らん」決意を示すために、自ら署名をしたのである。そのような決死の覚悟こそが近代的統一国家の迅速な形成を可能にした根本要因だと思われる。

それを端的に示す一例として、明治二年六月、薩長土肥が率先して「版籍奉還」を申し出ると、全国大多数の二七八藩がそれに倣ったのは、画期的な出来事といえよう。

また、これらの人々が十年余り後に健在で活躍していたことを示すのは、宮内省で同十二年に撮影された『明治十二年明治天皇御下命「人物写真帖」』である。そこに掲載されている人は四千五百余名にのぼるが、「五条御誓約奉対書」に署名した人物も三二六名含まれている。その人々は翻刻文に傍線を付すと共に、その署名（官位等は別人の記入。その下に自署）と写真をあわせて以下に掲出する（1のみ例外）。

なお、これらの人々の略歴などを写真の下に記した。それには、宮内庁三の丸尚蔵館の平成二十五年展示写真解説と、その一部を抄出した刑部芳則編『明治をつくった人々』（平成二十九年四月、吉川弘文館）を大いに参照させて頂いた。

また、この署名者と写真帖を照合したり、本稿の入力に際して、モラロジ-研究所専攻塾二十六期生の後藤真生氏（京都産業大学卒業）から多大な助力をえたことに謝意を表す。

（平成三十年一月十五日稿。三十日補）



岩倉右兵衛督具視

3 岩倉右兵衛督具視  
右大臣従一位勲一等  
東京府華族 56歳



有栖川太宰帥

(署名を欠くが  
例外的に掲出)

1 有栖川太宰帥  
陸軍大将兼左大臣議定官二品大勲位  
(皇族) 46歳



中山前大納言忠能

4 中山前大納言忠能  
驛香間祇候従一位  
東京府華族 72歳



三條大納言實美

2 三條大納言實美  
太政大臣兼賞勲局總裁修史館總裁  
従一位勲一等 東京府華族 44歳



華頂二品博經

10 華頂二品博經  
故海軍少將三品勲一等  
(皇族) 享年 26



有栖川中務卿熾仁

6 有栖川中務卿熾仁  
一品勲一等  
(皇族) 69 歳



徳大寺大納言實則

13 徳大寺大納言實則  
宮内卿正二位勲一等  
東京府華族 42 歳



山階治部卿晃

7 山階治部卿晃  
二品勲一等  
(皇族) 63 歳



松平宰相慶永

17 松平宰相慶永

麿香間祇候正二位

東京府華族 元福井藩主 53歳



萬里小路中納言博房

15 萬里小路中納言博房

皇太后宮大夫正三位

東京府華族 57歳



白川神祇伯資訓

18 白川神祇伯資訓

正三位

東京府華族 40歳



長谷宰相信篤

16 長谷宰相信篤

麿香間祇候從二位

東京府華族 60歳



鳴津少将忠義

23 島津少将忠義  
麿香間祇候従二位  
東京府華族 元鹿児島藩主 41歳



蜂須賀少将茂韶

19 蜂須賀少将茂韶  
外務省准勅任御用掛従二位  
東京府華族 元徳島藩主 35歳



亀井侍従茲監

25 亀井侍従茲監  
麿香間祇候従三位  
東京府華族 元津和野藩主 59歳



伊達少将宗城

21 伊達少将宗城  
麿香間祇候従二位  
東京府華族 元宇和島藩主 63歳



正親町大納言實徳

29 正親町大納言実徳  
正二位  
東京府華族 67 歳



鍋島侍従直大

26 鍋島侍従直大  
外務省准勅任御用掛従三位  
東京府華族 元佐賀藩主 35 歳



中院大納言通富

31 中院大納言通富  
正二位  
京都府華族 58 歳



細川侍従護久

28 細川侍従護久  
麿香間祇候従三位  
東京府華族 元熊本藩主 42 歳



三條西中納言季知

34 三條西中納言季知  
宮内省御用掛正二位  
東京府華族 70歳



橋本大納言實麗

32 橋本大納言実麗  
正二位  
東京府華族 72歳



大原宰相重徳

35 大原宰相重徳  
贈正二位  
東京府華族 享年 78



久我大納言通久

33 久我大納言通久  
正三位  
東京府華族 40歳



東園中将基敬

39 東園中将基敬  
 従三位  
 東京府華族 61 歳



西園寺三位中将公望

36 西園寺三位中将公望  
 正三位  
 東京府華族 34 歳



五條少納言為栄

44 五條少納言為栄  
 正四位  
 山形県華族 39 歳



吉田侍従三位良義

38 吉田侍従三位良義  
 権少教正正三位  
 東京府華族 44 歳



鷹尾侍従隆聚

47 鷹尾侍従隆聚  
工部少書記官正四位  
京都府華族 39歳



壬生前修理権大夫基修

45 壬生前修理権大夫基修  
麴香間祇候従三位  
東京府華族 58歳



長谷美濃権介信成

48 長谷美濃権介信成  
正四位  
東京府華族 40歳



四條前侍従隆謨

46 四條前侍従隆謨  
陸軍少将正四位勲二等  
東京府華族 53歳



岩倉侍従具綱

52 岩倉侍従具綱  
式部寮七等出仕兼三等掌典従四位  
東京府華族 40 歳



平松甲斐権介時厚

49 平松甲斐権介時厚  
従四位  
京都府華族 36 歳



萬里小路右少弁通房

53 萬里小路右少弁通房  
従四位  
東京府華族 33 歳



石山右兵衛権佐基正

50 石山右兵衛権佐基正  
従四位  
京都府華族 38 歳



秋月右京亮種樹

58 秋月右京亮種樹  
議官従四位  
東京府華族 元高鍋藩主 48歳



坊城侍従俊章

54 坊城侍従俊章  
陸軍歩兵大尉従四位勲五等  
東京府華族 34歳



戸田大和守忠至

59 戸田大和守忠至  
正四位  
東京府華族 元曾我野藩主 72歳



五辻大夫安仲

57 五辻大夫安仲  
宮内省御用掛第三部長正四位  
東京府華族 36歳



近衛前左大臣  
忠熙

64 近衛前左大臣忠熙  
麿香間祇候従一位  
東京府華族 73 歳



長岡左京亮  
護美

60 長岡左京亮護美  
外務省准勅任御用掛従四位  
東京府華族 38 歳



廣幡内大臣  
忠禮

67 廣幡内大臣忠禮  
麿香間祇候正二位  
東京府華族 57 歳



大炊御門右大臣  
家信

63 大炊御門右大臣家信  
麿香間祇候正二位  
京都府華族 63 歳



柳原前大納言光愛

74 柳原前大納言光愛  
正二位  
東京府華族 63歳



綾小路按察使有長

69 綾小路按察使有長  
麴香間祇候正二位  
東京府華族 89歳



前田中納言齊泰

82 前田中納言齊泰  
正三位  
東京府華族 元金沢藩主 70歳



飛鳥井前大納言雅典

73 飛鳥井前大納言雅典  
正二位  
京都府華族 56歳



野宮前中納言定功

87 野宮前中納言定功  
正二位  
東京府華族 66 歳



清水谷中納言公正

83 清水谷中納言公正  
従二位  
京都府華族 72 歳



三室戸宰相陳光

89 三室戸宰相陳光  
従二位  
京都府華族 76 歳



六條前中納言有容

86 六條前中納言有容  
賀茂別雷神社宮司兼大教正正二位  
京都府華族 67 歳



四辻宰相中将公賀

94 四辻宰相中将公賀  
正三位  
東京府華族 41歳



西洞院宰相信堅

90 西洞院宰相信堅  
正三位  
京都府華族 77歳



竹屋前宰相光有

96 竹屋前宰相光有  
従二位  
東京府華族 70歳



梅溪宰相中将通善

93 梅溪宰相中将通善  
正三位  
京都府華族 60歳



萩原二位員光

102 萩原二位員光  
權中教正從二位  
東京府華族 60 歲



藤波二位教忠

99 藤波二位教忠  
從二位  
東京府華族 58 歲



豊岡前大藏卿隨資

105 豊岡前大藏卿隨資  
正三位  
東京府華族 67 歲



五辻二位高仲

101 五辻二位高仲  
從二位  
東京府華族 72 歲



石野三位基安

117 石野三位基安  
正三位  
京都府華族 63歳



倉橋大蔵卿泰聰

106 倉橋大蔵卿泰聰  
正三位  
京都府華族 66歳



堀川三位親賀

119 堀川三位親賀  
正三位  
東京府華族 59歳



三室戸三位雄光

111 三室戸三位雄光  
正三位  
京都府華族 76歳



藤井三位行道

125 藤井三位行道  
正三位  
東京府華族 56 歳



山井三位氏暉

120 山井三位氏暉  
正三位  
京都府華族 59 歳



北小路左京權大夫隨光

126 北小路左京權大夫隨光  
正三位  
東京府華族 49 歳



錦織刑部卿久隆

124 錦織刑部卿久隆  
正三位  
東京府華族 61 歳



梅園三位實紀

130 梅園三位実紀  
正三位  
京都府華族 54歳



交野左京大夫時萬

127 交野左京大夫時萬  
正三位  
東京府華族 49歳



堀川新三位康隆

131 堀川新三位康隆  
侍従正三位  
東京府華族 45歳



慈光寺太宰大貳有仲

128 慈光寺太宰大貳有仲  
正三位  
東京府華族 53歳



山科内蔵頭言繩

138 山科内蔵頭言繩  
正三位  
京都府華族 46 歳



清岡三位長説

132 清岡三位長説  
正三位  
京都府華族 49 歳



飛鳥井侍従三位雅望

139 飛鳥井侍従三位雅望  
正三位  
京都府華族 39 歳



倉橋三位泰顕

137 倉橋三位泰顕  
従三位  
京都府華族 46 歳



石山中将基文

150 石山中将基文  
従三位  
東京府華族 51歳



油小路中将隆晃

141 油小路中将隆晃  
従三位  
京都府華族 60歳



愛宕中将通致

154 愛宕中将通致  
従三位  
京都府華族 53歳



三條西少将公允

149 三條西少将公允  
侍従従三位  
東京府華族 40歳



高野少将保建

157 高野少将保建  
正四位  
京都府華族 44 歳



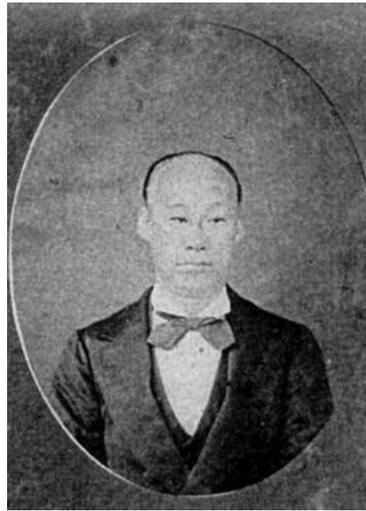
町尻少将量衡

155 町尻少将量衡  
従三位  
京都府華族 53 歳



大炊御門少将師前

158 大炊御門少将師前  
従三位  
京都府華族 28 歳



高丘兵部大輔紀季

156 高丘兵部大輔紀季  
従三位  
京都府華族 49 歳



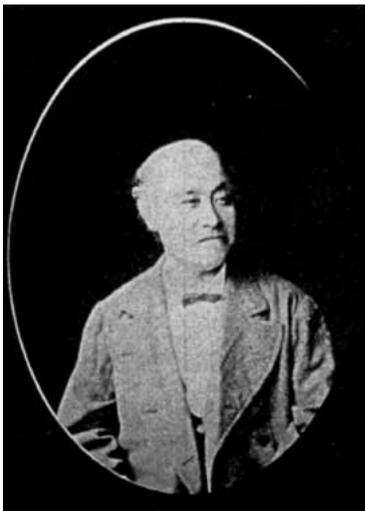
園  
中  
將  
基  
祥

162 園中将基祥  
従三位  
京都府華族 48歳



六  
角  
大  
蔵  
大  
輔  
博  
通

159 六角大蔵大輔博通  
従三位  
京都府華族 46歳



裏  
辻  
前  
中  
將  
公  
愛

163 裏辻前中将公愛  
従三位  
東京府華族 60歳



石  
野  
治  
部  
大  
輔  
基  
佑

161 石野治部大輔基佑  
従三位  
京都府華族 46歳



清水谷侍従公考

167 清水谷侍従公考  
正四位  
京都府華族 36歳



園池少将公静

164 園池少将公静  
従三位  
東京府華族 46歳



滋野井侍従公壽

168 滋野井侍従公壽  
正四位  
東京府華族 38歳



高辻少納言修長

165 高辻少納言修長  
侍従三位  
東京府華族 41歳



坊城頭弁俊政

174 坊城頭弁俊政  
式部頭従三位  
東京府華族 55 歳



小倉侍従長季

169 小倉侍従長季  
正四位  
東京府華族 42 歳



富小路前中務大輔敬直

177 富小路前中務大輔敬直  
侍従正四位  
東京府華族 39 歳



山本少将実政

171 山本少将実政  
宮内省御用掛第六部部长従三位  
京都府華族 55 歳



183 慈光寺大膳権大夫右仲  
正四位  
東京府華族 41歳

慈光寺大膳権大夫  
右仲



180 梅溪侍従通治  
男山八幡宮宮司兼中教正正四位  
京都府華族 50歳

梅溪侍従通治



185 油小路侍従隆董  
正四位  
京都府華族 42歳

油小路侍従  
隆董



182 千種侍従有任  
正四位  
東京府華族 46歳

千種侍従有任



三室戸左兵衛佐  
和光

188 三室戸左兵衛佐和光  
従四位  
京都府華族 39歳



綾小路少將  
有良

186 綾小路少將有良  
従四位  
東京府華族 32歳



豊岡中務権大輔  
健資

189 豊岡中務権大輔健資  
従四位  
東京府華族 36歳



唐橋大内記  
在綱

187 唐橋大内記在綱  
陸軍歩兵中尉従四位  
東京府華族 39歳



風早大和権介  
公紀

193 風早大和権介公紀  
従四位  
東京府華族 40 歳



松平少将  
定安

190 松平少将定安  
従四位  
東京府華族 元松江藩主 46 歳



中園近江権介  
実受

194 中園近江権介実受  
従四位  
京都府華族 36 歳



伏原少納言  
宣足

191 伏原少納言宣足  
従四位  
東京府華族 36 歳



東坊城大学頭  
任長

197 東坊城大学頭任長  
従四位  
京都府華族 43歳



萩原右衛門佐  
員種

195 萩原右衛門佐員種  
従四位  
東京府華族 31歳



錦織中務大輔  
教久

198 錦織中務大輔教久  
従四位  
東京府華族 31歳



冷泉侍従  
為紀

196 冷泉侍従為紀  
従四位  
京都府華族 27歳



202 藤波伊勢権守言忠  
侍従四位  
東京府華族 28 歳

藤波伊勢権守  
言忠



199 堤右兵衛佐功長  
従四位  
東京府華族 36 歳

堤右兵衛佐  
功長



203 黒田少将長知  
従四位  
東京府華族 元福岡藩主 43 歳

黒田少将  
長知



200 押小路弾正少弼公亮  
従四位  
東京府華族 40 歳

押小路弾正少弼  
公亮



勘解由小路権右弁資生

207 勘解由小路権右中弁資生  
従四位  
東京府華族 54歳



藤堂少将 高潔

204 藤堂少将高潔  
従四位  
東京府華族 元津藩主 44歳



葉室左少辨 長邦

209 葉室左少弁長邦  
従四位  
東京府華族 42歳



有馬遠江守 道純

205 有馬遠江守道純  
従四位  
東京府華族 元丸岡藩主 44歳



梅園大夫  
實靜

212 梅園大夫実静  
従四位  
京都府華族 41歳



竹屋左衛門佐  
光昭

210 竹屋左衛門佐光昭  
従四位  
東京府華族 44歳



西洞院大夫  
信愛

214 西洞院大夫信愛  
従四位  
京都府華族 35歳



西大路大夫  
隆脩

211 西大路大夫隆修  
従四位  
京都府華族 47歳



清閑寺侍従  
盛房

217 清閑寺侍従盛房  
従四位  
京都府華族 36歳



藪大夫  
實方

215 藪大夫実方  
従四位  
東京府華族 44歳



勘解由小路出雲権介  
光尚

220 勘解由小路出雲権介光尚  
従四位  
東京府華族 39歳



冷泉大夫  
為柔

216 冷泉大夫為柔  
従四位  
東京府華族 35歳



大原左馬頭

重朝

226 大原左馬頭重朝  
外務省准奏任御用掛従四位  
東京府華族 33 歳



花園大夫

實延

221 花園大夫実延  
従四位  
京都府華族 30 歳



甘露寺大夫

義長

227 甘露寺大夫義長  
従四位  
東京府華族 29 歳



東園大夫

基愛

222 東園大夫基愛  
侍従従四位  
東京府華族 31 歳



植松右京権大夫

雅徳

230 植松右京権大夫雅徳  
従四位  
東京府華族 38歳



中御門大夫

経明

228 中御門大夫経明  
従四位  
東京府華族 31歳



清岡大膳大夫

長延

234 清岡大膳大夫長延  
従四位  
京都府華族 36歳



阿野侍従

実允

229 阿野侍従実允  
従四位  
東京府華族 31歳



武者小路大夫

実世

237 武者小路大夫実世  
司法省御用掛正五位  
東京府華族 39 歳



裏松中務権少輔

良光

235 裏松中務権少輔良光  
陸軍歩兵中尉從四位勲六等  
東京府華族 31 歳



三室戸大夫

治光

240 三室戸大夫治光  
正五位  
京都府華族 32 歳



桑原大夫

輔長

236 桑原大夫輔長  
正五位  
京都府華族 34 歳



植松大夫

雅平

245 植松大夫雅平  
従五位  
東京府華族 28歳



八條近江權守

隆吉

243 八條近江權守隆吉  
従五位  
京都府華族 33歳



唐橋大夫

在正

247 唐橋大夫在正  
従五位  
東京府華族



岩倉大夫具定

244 岩倉大夫具定  
内務省准奏任御用掛従四位  
東京府華族 30歳



京極佐渡守

朗徹

250 京極佐渡守朗徹  
従五位  
東京府華族 元丸亀藩主 53歳



日野西越後権介

光善

248 日野西越後権介光善  
少教正従五位  
東京府華族 32歳



九鬼大隅守

隆備

251 九鬼大隅守隆備  
従五位  
東京府華族 元綾部藩主 47歳



松浦肥前守

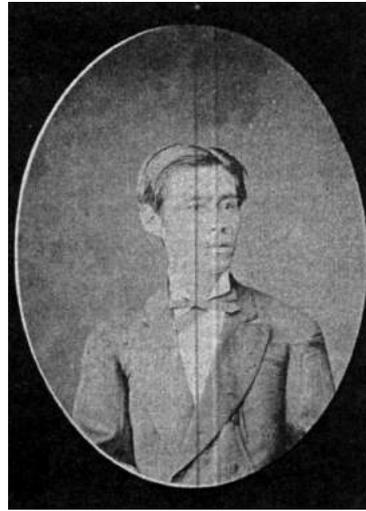
詮

249 松浦肥前守詮  
麴香間祇候正四位  
東京府華族 元平戸藩主 41歳



倉橋因幡権介  
泰清

255 倉橋因幡権介泰清  
従五位  
京都府華族 28歳



北條相模守  
氏恭

252 北條相模守氏恭  
侍従従五位  
東京府華族 元狭山藩主 36歳



安藤飛驒守  
直裕

257 安藤飛驒守直裕  
従五位  
東京府華族 元田辺藩主 60歳



柳筥大夫  
隆義

253 柳筥大夫隆義  
従五位  
京都府華族 29歳



市橋下總守  
長義

260 市橋下総守長義  
正五位  
東京府華族 元西大路藩主 60 歳



仙石讚岐守  
久利

258 仙石讚岐守久利  
従五位  
東京府華族 元出石藩主 61 歳



木下備中守  
利恭

262 木下備中守利恭  
従五位  
東京府華族 元足守藩主 49 歳



中川修理大夫  
久昭

259 中川修理大夫久昭  
従四位  
東京府華族 元岡藩主 61 歳



京極下總守 高典

268 京極下總守高典  
從五位  
東京府華族 元多度津藩主 45 歳



京極飛驒守 高厚

263 京極飛驒守高厚  
從五位  
東京府華族 元豊岡藩主 48 歳



松平佐渡守 直巳

269 松平佐渡守直巳  
從五位  
東京府華族 元広瀬藩主 49 歳



水野大炊頭 忠幹

266 水野大炊頭忠幹  
從五位  
東京府華族 元新宮藩主 43 歳



朽木近江守為綱

272 朽木近江守為綱  
從五位  
東京府華族 元福知山藩主 33 歳



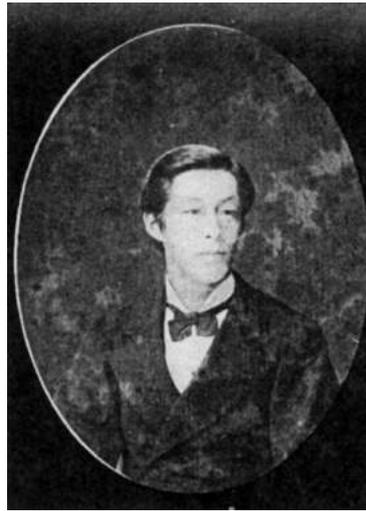
伊藤播磨守長壽

270 伊東播磨守長壽  
從五位  
東京府華族 元岡田藩主 37 歳



池田相模守徳定

273 池田相模守徳定  
從五位  
東京府華族 元若桜藩主 33 歳



松平主計頭直哉

271 松平主計頭直哉  
從五位  
東京府華族 元母里藩主 33 歳



加藤遠江守泰秋

276 加藤遠江守泰秋  
従四位  
東京府華族 元大須(洲)藩主 35歳



小出伊勢守英尚

274 小出伊勢守英尚  
従五位  
東京府華族 元園部藩主 32歳



加藤能登守明實

277 加藤能登守明實  
正五位  
東京府華族 元水戸藩主 33歳



藤堂佐渡守高邦

275 藤堂佐渡守高邦  
従五位  
東京府華族 元久居藩主 35歳



北小路極臈

大江俊昌

282 北小路極臈大江俊昌  
従五位  
東京府華族 45 歳



織田出雲守信親

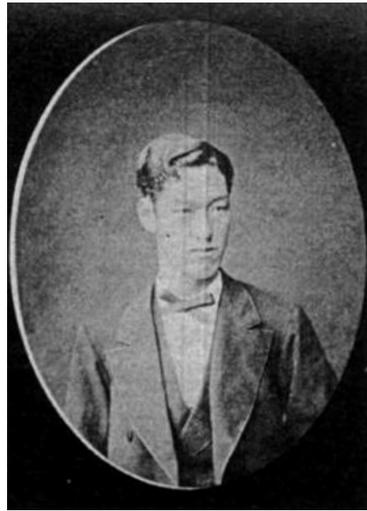
278 織田出雲守信親  
従五位  
東京府華族 元柏原藩主 31 歳



織田富久之助

信敏

287 織田富久之助信敏  
従五位  
東京府華族 元天童藩主 28 歳



松平圖書頭信正

280 松平圖書頭信正  
大藏省準奏任御用掛従五位  
東京府華族 元亀岡藩主 29 歳



青木源五郎重義

290 青木源五郎重義  
従五位  
東京府華族 元麻田藩主 28歳



森帶刀忠儀

288 森帶刀忠儀  
従五位  
東京府華族 元赤穂藩主 31歳



一柳弦次郎頼明

291 一柳弦次郎頼明  
従五位  
京都府華族 元僧侶 46歳



土方智千代雄永

289 土方智千代雄永  
従五位  
東京府華族 元菰野藩主 30歳



一柳對馬守末徳

297 一柳對馬守末徳  
從五位  
東京府華族 元小野藩主 31歳



井上河内守正直

293 井上河内守正直  
少教正從四位  
東京府華族 元鶴舞藩主 44歳



本多平八郎忠直

298 本多平八郎忠直  
陸軍歩兵大尉正七位  
静岡県士族 36歳



板倉棋津守勝弘

296 板倉棋津守勝弘  
從五位  
東京府華族 元庭瀬藩主 43歳



松平大和守直克

301 松平大和守直克  
従四位  
東京府華族 元前橋藩主 41歳



植村釗次郎 家壺

299 植村釗次郎家壺  
従五位  
東京府華族 元高取藩主 34歳



前田飛騨守利鬯

302 前田飛騨守利鬯  
従四位  
東京府華族 元大聖寺藩主 40歳



松平讃岐守頼聡

300 松平讃岐守頼聡  
従四位  
東京府華族 元高松藩主 47歳



本多主膳正康穰

306 本多主膳正康穰  
従四位  
東京府華族 元膳所藩主 46歳



島津淡路守忠寛

304 島津淡路守忠寛  
従四位  
東京府華族 元佐土原藩主 53歳



柳澤甲斐守保申

307 柳澤甲斐守保申  
従四位  
東京府華族 元郡山藩主 35歳



稲葉美濃守正邦

305 稲葉美濃守正邦  
従四位  
東京府華族 元淀藩主 47歳



遠山信濃守友禄

311 遠山信濃守友禄  
従五位  
東京府華族 元苗木藩主 62歳



土井能登守利恒

309 土井能登守利恒  
従五位  
東京府華族 元大野藩主 33歳



渡邊丹後守章綱

313 渡邊丹後守章綱  
従五位  
東京府華族 元伯太藩主 48歳



稲葉右京亮久通

310 稲葉右京亮久通  
従五位  
東京府華族 元臼杵藩主 38歳



高木主水正正坦

317 高木主水正正坦  
従五位  
東京府華族 元丹南藩主 52歳



三宅備後守康保

314 三宅備後守康保  
従五位  
東京府華族 元田原藩主 50歳



久松壹岐守定法

318 久松壹岐守定法  
従五位  
東京府華族 元今治藩主 47歳



小笠原左衛門佐長守

315 小笠原左衛門佐長守  
従五位  
東京府華族 元勝山藩主 47歳



大岡越前守  
忠敬

323 大岡越前守忠敬  
権少教正従五位  
東京府華族 元西大平藩主 53歳



細川玄蕃頭  
興貫

320 細川玄蕃頭興貫  
従五位  
東京府華族 元茂木藩主 49歳



岩城左京大夫  
隆邦

325 岩城左京大夫隆邦  
従五位  
東京府華族 元亀田藩主 37歳



丹羽長門守  
氏中

321 丹羽長門守氏中  
従五位  
東京府華族 元三草藩主 45歳



土岐隼人正頼知

328 土岐隼人正頼知  
従五位  
東京府華族 元沼田藩主 32歳



細川豊前守行眞

326 細川豊前守行眞  
従五位  
東京府華族 元宇土藩主 39歳



松平日向守直静

329 松平日向守直静  
従五位  
東京府華族 元清崎藩主 33歳



松平主殿頭忠和

327 松平主殿頭忠和  
従五位  
東京府華族 元島原藩主 30歳



西尾 隠岐守 忠篤

334 西尾 隠岐守 忠篤  
従五位  
東京府華族 元花房藩主 31歳



酒井 左京亮 忠経

331 酒井 左京亮 忠経  
従五位  
東京府華族 元小浜藩主 33歳



三浦 玄蕃頭 顯次

335 三浦 玄蕃頭 顯次  
従五位  
東京府華族 元勝山藩主 34歳



堀田 出羽守 正養

332 堀田 出羽守 正養  
東京府赤坂区長従五位  
東京府華族 元宮川藩主 33歳



小  
笠  
原  
幸  
松  
丸  
貞  
孚

341 小笠原幸松丸貞孚  
従五位  
東京府華族 元安志藩主 31歳



井  
伊  
右  
京  
亮  
直  
安

336 井伊右京亮直安  
従五位  
東京府華族 元与板藩主 30歳



安  
藤  
理  
三  
郎  
信  
勇

344 安藤理三郎信勇  
従五位  
東京府華族 元磐城平藩主 32歳



青  
山  
大  
膳  
亮  
幸  
宜

340 青山大膳亮幸宜  
従五位  
東京府華族 元郡上藩主 26歳



伊東彦松祐歸

350 伊東彦松祐歸  
従五位  
東京府華族 元飢肥藩主 26歳



松平薫次郎直致

348 松平薫次郎直致  
従四位  
東京府華族 元明石藩主 32歳



土屋余七磨舉直

351 土屋余七磨拳直  
従五位  
東京府華族 元土浦藩主 29歳



柳澤伊織光邦

349 柳澤伊織光邦  
従五位  
東京府華族 元黒川藩主 27歳



櫻井遠江守  
忠興

357 櫻井遠江守忠興  
従五位  
東京府華族 元尼崎藩主 33歳



織田修理  
信及

355 織田修理信及  
従五位  
東京府華族 元柳本藩主 37歳



四辻大夫  
公康

359 四辻大夫公康  
正五位  
東京府華族 28歳



黒田甲斐守  
長徳

356 黒田甲斐守長徳  
従五位  
東京府華族 元秋月藩主 33歳



水野直次郎忠弘

362 水野直次郎忠弘  
従五位  
東京府華族 元朝日山藩主 25歳



野宮大夫定毅

360 野宮大夫定毅  
従五位  
東京府華族 28歳



奥平美作守昌邁

364 奥平美作守昌邁  
従五位  
東京府華族 元中津藩主 26歳



水野和泉守忠精

361 水野和泉守忠精  
従四位  
東京府華族 元朝日山藩主 49歳



堀田相模守正倫

368 堀田相模守正倫  
従五位  
東京府華族 元佐倉藩主 30歳



加納嘉元次郎久宜

366 加納嘉元次郎久宜  
従五位  
東京府華族 元一宮藩主 33歳



内藤備後守政挙

370 内藤備後守政挙  
従五位  
東京府華族 元延岡藩主 31歳



永井肥前守尚服

367 永井肥前守尚服  
中教正従五位  
東京府華族 元加納藩主 48歳



稲葉備後守正善

374 稲葉備後守正善  
従五位  
東京府華族 元館山藩主 33歳



大給左衛門尉近説

371 大給左衛門尉近説  
少教正従五位  
東京府華族 元府内藩主 53歳



立花出雲守種恭

376 立花出雲守種恭  
従五位  
東京府華族 元三池藩主 45歳



松井周防守康英

373 松井周防守康英  
従四位  
東京府華族 元川越藩主 51歳



毛利淡路守  
元蕃

384 毛利淡路守元蕃  
従五位  
東京府華族 元徳山藩主 65歳



保科弾正忠  
正益

380 保科弾正忠正益  
従五位  
東京府華族 元飯野藩主 48歳



伊達侍従  
宗徳

391 伊達侍従宗徳  
従四位  
東京府華族 元宇和島藩主 51歳



本庄弾正忠  
宗武

381 本庄弾正忠宗武  
少教正従五位  
東京府華族 元宮津藩主 35歳



九鬼  
長門守隆義

398 九鬼長門守隆義  
従五位  
東京府華族 元三田藩主 44 歳



戸田  
丹波守光則

393 戸田丹波守光則  
従四位  
東京府華族 元松本藩主 53 歳



松平  
能登守兼命

399 松平能登守兼命  
従五位  
東京府華族 元岩村藩主 33 歳



本多  
河内守忠貫

397 本多河内守忠貫  
従五位  
東京府華族 元神戸藩主 48 歳



阿部元次郎正桓

403 阿部元次郎正桓  
従五位  
東京府華族 元福山藩主 30歳



太田備中守資美

400 太田備中守資美  
従五位  
東京府華族 元松尾藩主 27歳



内藤金一郎文成

406 内藤金一郎文成  
従五位  
東京府華族 元拳母藩主 26歳



前田多慶若利嗣

402 前田多慶若利嗣  
従四位  
東京府華族 元金沢藩主 23歳



本多修理忠鵬

419 本多修理忠鵬  
従五位  
東京府華族 元西端藩主 24 歳



西四辻少将公業

410 西四辻少将公業  
侍従四位  
東京府華族 43 歳



松平少将茂昭

422 松平少将茂昭  
正四位  
東京府華族 元福井藩主 45 歳



岩倉勘解由長官具経

411 岩倉勘解由長官具経  
大藏権少書記官正五位  
東京府華族 28 歳



戸田淡路守氏良

427 戸田淡路守氏良  
従五位  
東京府華族 元野村藩主 42歳



山内少将豊範

423 山内少将豊範  
麿香間祇候従三位  
東京府華族 元高知藩主 35歳



本多肥前守忠明

429 本多肥前守忠明  
従五位  
東京府華族 元山崎藩主 48歳



大河内刑部大輔信古

424 大河内刑部大輔信古  
従四位  
東京府華族 元豊橋藩主 52歳



蒔田相模守  
廣孝

435 蒔田相模守広孝  
従五位  
東京府華族 元浅尾藩主 32歳



脇阪淡路守  
安斐

430 脇阪淡路守安斐  
宮内省御用掛従五位  
東京府華族 元龍野藩主 42歳



永井信濃守  
直哉

436 永井信濃守直哉  
従五位  
東京府華族 元榑羅藩主 31歳



片桐主膳正  
貞篤

433 片桐主膳正貞篤  
従五位  
東京府華族 元小泉藩主 40歳



稲垣對馬守長敬

439 稲垣對馬守長敬  
從五位  
東京府華族 元鳥羽藩主 27 歲



真田信濃守幸民

437 真田信濃守幸民  
從四位  
東京府華族 元松代藩主 31 歲



木下鐵次郎俊愿

440 木下鐵次郎俊愿  
故從五位  
東京府華族 元日出藩主 享年 44 歲



戸田采女正氏共

438 戸田采女正氏共  
工部省準奏任御用掛從五位  
東京府華族 元大垣藩主 27 歲



成瀬隼人正正肥

445 成瀬隼人正正肥  
正五位  
東京府華族 元犬山藩主 46歳



山崎壽丸  
治祇

441 山崎壽丸治祇  
従五位  
東京府華族 元成羽藩主 26歳



加藤出雲守泰令

446 加藤出雲守泰令  
正五位  
東京府華族 元新谷藩主 43歳



鍋島欽八郎  
直虎

442 鍋島欽八郎直虎  
従五位  
東京府華族 元小城藩主 25歳



水野出羽守

忠敬

453 水野出羽守忠敬  
従五位  
東京府華族 元菊間藩主 30歳



小笠原近江守貞正

447 小笠原近江守貞正  
従五位  
東京府華族 元千束藩主 41歳



本多紀伊守

正訥

454 本多紀伊守正訥  
従五位  
東京府華族 元長尾藩主 54歳



橋本中將實梁

448 橋本中将実梁  
式部権助兼二等掌典従三位  
東京府華族 47歳



大岡主膳正忠  
忠實

458 大岡主膳正忠實  
従五位  
東京府華族 元岩槻藩主 34 歳



鳥居丹波守  
忠實

455 鳥居丹波守忠實  
従五位  
東京府華族 元壬生藩主 36 歳



松平攝津守  
忠恕

460 松平攝津守忠恕  
従五位  
東京府華族 元小幡藩主 56 歳



中山備中守  
信徴

457 中山備中守信徴  
従五位  
東京府華族 元松岡藩主 35 歳



堀田攝津守  
正頌

463 堀田攝津守正頌  
從五位  
東京府華族 元佐野藩主 39 歲



大河内豊前守  
正質

461 大河内豊前守正質  
陸軍歩兵少佐從五位  
東京府華族 元大多喜藩主 37 歲



水野肥前守  
忠順

464 水野肥前守忠順  
從五位  
東京府華族 元鶴牧藩主 57 歲



阿部駿河守  
正恒

462 阿部駿河守正恒  
從五位  
東京府華族 元佐貫藩主



戸田長門守

忠行

468 戸田長門守忠行  
従五位  
東京府華族 元足利藩主 34歳



大久保中務少輔

教義

465 大久保中務少輔教義  
従五位  
東京府華族 元萩野山中藩主 56歳



米津伊勢守

政敏

469 米津伊勢守政敏  
陸軍歩兵少尉従五位勲六等  
東京府華族 元長瀨藩主 30歳



米倉丹後守

昌言

467 米倉丹後守昌言  
従五位  
東京府華族 元六浦藩主 44歳



松平雅楽頭

頼策

474 松平雅楽頭頼策  
従四位  
東京府華族 元石岡藩主 33歳



内田主殿頭

正学

471 内田主殿頭正学  
従五位  
東京府華族 元小見川藩主 34歳



大久保三九郎

忠順

476 大久保三九郎忠順  
従五位  
東京府華族 元烏山藩主 24歳



本堂式部丞

親久

473 本堂式部丞親久  
従五位  
東京府華族 元志筑藩主 52歳



大田原銚丸  
勝清

481 大田原銚丸勝清  
従五位  
東京府華族 元大田原藩主 20歳



酒井知三  
忠彰

478 酒井知三忠彰  
従五位  
東京府華族 元伊勢崎藩主 29歳



山口長次郎  
弘達

482 山口長次郎弘達  
従五位  
東京府華族 元牛久藩主 21歳



大関泰次郎  
増勤

479 大関泰次郎増勤  
従五位  
東京府華族 元黒羽藩主 29歳



戸田  
土佐守忠友

489 戸田土佐守忠友  
中教正從五位  
東京府華族 元宇都宮藩主 34 歳



井上  
辰若丸正巳

484 井上辰若丸正巳  
從五位  
東京府華族 元下妻藩主 25 歳



松平  
主税頭  
頼位

490 松平主税頭頼位  
権少教正從五位  
東京府華族 元宍戸藩主 74 歳



松平  
確堂  
齊民

485 松平確堂齊民  
正四位  
東京府華族 元津山藩主 67 歳



柳澤彰太郎  
徳忠

494 柳澤彰太郎徳忠  
従五位  
東京府華族 元三日市藩主 27歳



溝口誠之進  
直正

491 溝口誠之進直正  
従五位  
東京府華族 元新発田藩主 26歳



松平伊賀守  
忠禮

497 松平伊賀守忠禮  
従五位  
東京府華族 元上田藩主 31歳



秋田万之助  
映季

493 秋田万之助映季  
従五位  
東京府華族 元三春藩主 23歳



生駒讚岐守  
親敬

500 生駒讚岐守親敬  
従五位  
東京府華族 元矢島藩主 32歳



六郷兵庫頭  
政鑑

498 六郷兵庫頭政鑑  
従五位  
東京府華族 元本荘藩主 33歳



榊原侍従  
政敬

501 榊原侍従政敬  
従四位  
東京府華族 元高田藩主 38歳



上杉駿河守  
勝道

499 上杉駿河守勝道  
従五位  
東京府華族 元谷地藩主 55歳



大村丹後守純熙

506 大村丹後守純熙  
従四位  
東京府華族 元大村藩主 51歳



戸澤中務大輔正実  
正實

502 戸澤中務大輔正実  
従四位  
東京府華族 元新庄藩主 49歳



鍋島備中守直彬

509 鍋島備中守直彬  
沖縄県令兼判事従五位  
東京府華族 元鹿島藩主 38歳



上杉侍従茂憲

504 上杉侍従茂憲  
宮内省御用掛第四部部长従四位  
東京府華族 元米沢藩主 37歳



池田丹波守政禮

513 池田丹波守政禮  
從五位  
東京府華族 元生坂藩主 33 歳



安部攝津守信發

510 安部攝津守信發  
從五位  
東京府華族 元半原藩主 36 歳



佐竹壹岐守義理

514 佐竹壹岐守義理  
從五位  
東京府華族 元岩崎藩主 23 歳



牧野伊勢守忠泰

512 牧野伊勢守忠泰  
權少教正從五位  
東京府華族 元峯岡藩主 36 歳



酒井信三郎忠匡

519 酒井信三郎忠匡  
従五位  
東京府華族 元松嶺藩主 25歳



久世順吉  
廣業

516 久世順吉広業  
従五位  
東京府華族 元関宿藩主 23歳



丹羽五郎左衛門長裕

520 丹羽五郎左衛門長裕  
従五位  
東京府華族 元二本松藩主 22歳



阿部基之助正功

518 阿部基之助正功  
従五位  
東京府華族 元棚倉藩主 21歳



本多兵庫助忠伸

523 本多兵庫助忠伸  
従五位  
東京府華族 元泉藩主 29 歳



南部彦太郎利恭

521 南部彦太郎利恭  
正五位  
東京府華族 元盛岡藩主 26 歳



松平豊熊信安

524 松平豊熊信安  
従五位  
東京府華族 元上山藩主 20 歳



板倉教之助勝達

522 板倉教之助勝達  
宮内省御用掛第一部部长従五位  
東京府華族 元重原藩主 42 歳



南部雄磨信方

527 南部雄磨信方  
従五位  
東京府華族 元七戸藩主 23 歳



牧野銳橋忠毅

525 牧野銳橋忠毅  
従五位  
東京府華族 元長岡藩主 22 歳



津輕從五位承叙

536 津輕從五位承叙  
正五位  
東京府華族 元黒石藩主 41 歳



田丸鎮丸崇顯

526 田丸鎮丸崇顯  
従五位  
東京府華族 元一関藩主 23 歳



酒井采女  
忠篤

668 酒井采女忠篤  
陸軍歩兵中尉従五位  
東京府華族 元大泉藩主 28歳



山内薰豊誠  
(以下六名補遺)

418 山内薰豊誠  
司法省御用掛従五位  
東京府華族 元新田藩主 30歳



河野庄左衛門  
通知

699 河野庄左衛門通知  
陸軍會計軍吏正七位勲五等  
山口県士族 39歳



井上厚之助正義

584 井上厚之助正義  
陸軍砲兵少尉正八位  
長野県士族 30歳

# 近藤利三郎政敏



748 近藤利三郎政敏  
陸軍歩兵少尉正八位  
静岡県士族 30歳

# 岡田鏗之助善長



831 岡田鏗之助善長  
陸軍歩兵少佐従六位  
東京府士族 44歳

〈付記〉 右の二資料の掲載を許可された宮内庁の宮内公文書館と三の丸尚蔵館および後者『明治十二年明治天皇御下命  
「人物写真帖」』図録を編刊された関係各位に、あわせて御礼を申し上げます。